

南種子町ふるさと納税推進業務
公募型プロポーザル事業者選考審査基準要領

1. 審査の考え方、配点

(1) 審査の考え方

提案書の審査にあたっては、本業務に対する企画提案について、提案書類及びプレゼンテーションにおけるヒアリング等において審査する。

具体的には、「①業務実施体制・業務計画」、「②同種業務の実績」、「③ポータルサイトの自治体・返礼品ページの管理」、「④事業者への支援」、「⑤事業者・返礼品の新規開発」、「⑥寄附者への対応（コールセンター業務）」、「⑦ワンストップ特例申請一括代行」、「⑧広報・プロモーション・認知対策」、「⑨自治体支援」、「⑩募集経費5割以下に向けた工夫」、「⑪独自提案」、「⑫見積価格」、「⑬セキュリティ意識」について審査するものである。

(2) 審査項目・配点

審査は、250点を満点とし、次のように審査項目別に配点する。

審 査 項 目	配 点
① 業務実施体制・業務計画	10
② 同種業務の実績	10
③ ポータルサイトの自治体・返礼品ページの管理	30
④ 事業者への支援	30
⑤ 事業者・返礼品の新規開発	30
⑥ 寄附者への対応（コールセンター業務）	15
⑦ ワンストップ特例申請一括代行	10
⑧ 広報・プロモーション・認知対策	30
⑨ 自治体支援	15
⑩ 募集経費5割以下に向けた工夫	10
⑪ 独自提案	20
⑫ 見積価格	30
⑬ セキュリティ意識	10
合 計	250

2. 各項目の審査基準

(1) 業務実施体制・業務計画

業務を適正かつ確実に実施できる人員配置・業務体制となっているか。また、業務計画は妥当か審査する。

◎サポート体制は十分あるか。

◎業務を安定的に実施することができる、計画、体制となっているか。

(2) 同種業務の実績

同種の業務について、他自治体での豊富な受託実績があるか審査する。

◎同種業務の受託自治体数はいくつあるか。

◎寄附実績が向上した自治体数がいくつあるか。

◎同種業務に関する豊富な知識・経験があるか。

(3) ポータルサイトの自治体・返礼品ページの管理

返礼品のイメージ写真の撮影、ページデザインの作成等に関する技術・ノウハウを有しており、類似の返礼品を取り扱う他自治体との差別化を図るための工夫はあるか審査する。

◎魅力的な返礼品のイメージ写真の撮影やページデザインの作成等の取り組みがあるか。

◎類似返礼品を取り扱う他自治体との差別化を図られる提案となっているか。

(4) 事業者への支援

①既存返礼品のブラッシュアップのための支援はあるか。②事業者向け説明会や事業者訪問等、事業者への支援体制は充実しているか審査する。

①既存返礼品への支援

◎本町の返礼品の現状や特徴を理解している内容となっているか。

◎提案された内容が、実現可能な提案であるか。

②事業者向けの支援

◎具体的な支援内容や体制が提案されているか。

◎事業者と密な連携を図れる提案となっているか。

(5) 事業者・返礼品の新規開発

新規事業者及び新規返礼品を開拓するための営業や情報収集など具体的な対策はあるか審査する。

◎独自性・新規性があるか。また具体性があり、実現可能な提案内容であるか。

◎新規事業者開拓のための具体的提案がなされているか。

◎地域の特性を理解している返礼品提案となっているか。

(6) 寄附者への対応（コールセンター業務）

①寄附金受領証明書やワンストップ特例申請書などの書類発送について、スムーズな対応となっているか。②寄附者からの問合せ・苦情に迅速かつ丁寧に対応できる体制となっているか。③配送遅延、梱包箱破損などのトラブルにも対応できる体制となっているか審査する。

①受領証明書等発送

◎受領証明書等のスムーズな発送業務に係る体制が提案されているか。

②寄附者からの問合せ体制

◎コールセンターを設置し、寄附者からの問合せ・苦情に迅速かつ丁寧に対応できる体制となっているか。

③トラブル対応体制

◎配送遅延や梱包箱破損等の突発的なトラブルに対応できる体制となっているか。

(7) ワンストップ特例申請一括代行

ワンストップ特例申請一括代行に係る作業実施体制や個人情報保護体制が十分であり、本町への負担がない提案となっているか審査する。

◎個人情報保護体制が整っており、スムーズな作業実施が可能な体制となっているか。

(8) 広報・プロモーション・認知対策

町の魅力を広く発信し、認知度を向上させるための情報発信や SEO 対策など寄附者の目を引きやすい対策・工夫はあるか審査する。

◎町の魅力を効率よく広く発信し、より多くの寄附者へ訴求できるような提案となっているか。

◎独自のノウハウやアイデアを駆使した効果的なプロモーションの提案があるか。

(9) 自治体支援

町ふるさと納税担当者へのふるさと納税に関する知識、専門的知見からのアドバイス等の定期的な情報提供や返礼品提供事業者と町担当者の関係性を強化する取り組みは十分か審査する。

◎町担当者へのサポート体制が整っており、具体的な内容の提案があるか。

(10) 募集経費 5 割以下に向けた工夫

送料を安価にする工夫など、寄附金募集に係る経費を 5 割以下とするための有効な対策はあるか審査する。

◎募集経費 5 割以下に向けた具体的かつ実施可能な対策の提案があるか。

(11) 独自提案

町にとって有益な独自提案はあるか審査する。

◎業務効率化・業務軽減・経費削減に繋がる具体的提案があるか。

◎その他、町にとって有益かつ実施可能な独自の提案があるか。

(12) 見積価格

提案内容にあった適切な価格となっているか審査する。

◎合理的な見積価格となっているか。また、明確な説明があるか。

◎参考見積は現実的なコスト面を考慮しており実現可能な金額か。

(13) セキュリティ意識

本業務における個人情報の管理やセキュリティ対策について、十分な体制となっているか審査する。

◎個人情報保護について体制が整っており具体的な取り組みの提案があるか。

3. 評価点数

評価の際には、各項目の審査基準を参考とし、審査項目ごとに5段階で評価を行う。

評価については「普通」を基準として、それよりもどの程度優れているか、劣っているかを判断するものとし、選定基準点を評価合計点数（満点）の6割とする。

評価にはそれぞれ対応する点数を設け、当該項目については下記とおりの得点とする。

評 価	配点：30点	配点：20点	配点：15点	配点：10点
極めて高い	30	20	15	10
高い	24	16	12	8
普通	18	12	9	6
やや低い	12	8	6	4
低い	6	4	3	2

4. 注意事項

(1) 評価については、審査日当日に行うものとする。

5. 優先交渉権者の決定について

審査の採点により、以下の条件に従い順次決定する。

- (1) 全審査員の合計得点が最高得点の者。
- (2) 最高得点の者が複数いる場合は、委員長を除く委員の多数決。